

議 事 録

会 議 名	令和6年第1回一宮警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年2月29日（木） 午後2時30分から午後4時30分までの間 ----- 一宮警察署 講堂
出 席 者	<p>1 委員</p> <p style="text-align: center;">星野 博 会長 中須賀 朱美 副会長 鈴木 直之 委員 西尾 欣孝 委員 杉山 弘幸 委員 嵯峨 裕英 委員 鵜飼 保子 委員 衣 飛 委員 榊原 丈晴 委員 西田 りか 委員 今西 智恵子 委員 大重 宏司 委員 松下 明子 委員 スカレット キアウ委員</p> <p style="text-align: right;">以上14名（定数15名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <p style="text-align: center;">中神署長 粕谷副署長 宮田警務課長 長谷川会計課長 古川生活安全課長 吉本地域課長 松井刑事課長 松井交通課長 片桐警備課長</p> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等</p> <p style="text-align: center;">なし</p>
諮 問 事 項 等	交通事故情勢及び自転車事故防止対策
答 申 等 の 概 要	<p>1 交差点に関連する違反の取締強化及び効果的な指導警告の実施</p> <p>2 学生及び高齢者に特化した自転車利用に関する安全教育の推進</p> <p>3 自転車用ヘルメットの着用率向上に向けた取組の強化</p>
そ の 他	次回開催予定 令和6年5月頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状交付
	署長から新規委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。
2	会長挨拶
3	署長挨拶
4	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(2) 管内の犯罪発生状況・速度取締指針（交通課長説明）
5	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	少年非行防止対策
	(2) 答申事項
	ア 街頭補導活動の強化
	イ 中学校、高校及び一宮市保護司会との連携の強化
	ウ 関係機関と連携した広報啓発活動の推進
	(3) 推進施策（生活安全課長説明）
	ア 答申事項アについて
	○ 街頭補導の実施
	○ 合同パトロールの実施
	イ 答申事項イについて
	○ 中学校、高校教諭らとの情報交換
	○ 保護者への講話
	○ 高校生への講話
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨
ウ 答申事項ウについて
○ 地元ラジオでの広報
○ 尾張一宮駅構内などでの非行防止ポスターの掲示
6 諮問
(1) 諮問事項
交通事故情勢及び自転車事故防止対策
(2) 諮問事項の設定理由（交通課長説明）
ア 一宮市内では、交通事故死傷者数が令和3年から増加に転じ、令和5 年中には、6年ぶりに二桁となる10名が交通事故で亡くなった。
イ 愛知県内と比較して一宮市内は、自転車の交通事故が6パーセント高 く、高校生を主とした若者や高齢者が当事者となる場合が多い。
ウ 自転車乗車中におけるヘルメット着用率が、いまだ15パーセント程度 である。
7 協議
委員 ・ 右側通行や斜めに道路を渡ったり、ヘルメットを着用していない 自転車をよく見かける。
自転車が車両だという認識がないかもしれないので、パトカーで アナウンスを流すなどしてみてもどうか。
委員 ・ 学校と協力し、自転車に乗る際の教育ができたらいいと思う。
委員 ・ 横断歩道を渡ろうとする人がいても、構わず通過する車を見かけ るので、車両の運転手に安全確認をする教育をしてほしい。
委員 ・ 自転車ヘルメット着用強化月間のようなものを設けて指導すると
記録者
警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
	効果的ではないか。
委員	・ 学校を通じてチラシを配る等し、子供たちに繰り返し教育することが大切だと思う。
委員	・ 外国人が自転車のルールをしっかりと理解できるように、母国語で説明されたチラシがあるといいと思う。
委員	・ ドライブレコーダーの事故映像など、視覚で訴える教材を使った教養をしてみてもどうか。
委員	・ 高校生の自転車運転マナーが悪い印象があるので対策をしてほしい。
委員	・ 指導警告票を使った自転車への取締りをもっと行ってほしい。
委員	・ 平たんな土地柄であるなど、一宮市ならではの事故発生原因について積極的に広報してみてもどうか。
委員	・ 学生は交通ルールを知っているようで知らないと思うので、生徒が主体となった取組ができればいいと思う。
委員	・ 高齢者に対する広報がまだ弱いと思うので、高齢者が集まる機会に配布物を渡してみてもどうか。
委員	・ 高校生になるとヘルメットを着用しなくなるように思うので、ヘルメット着用の重要性を教育してほしい。
委員	・ 駅などで自転車を止める際にヘルメットを保管することができる手段があると、ヘルメットの着用率は上がると思う。
委員	・ 女性でもかぶりやすい自転車用ヘルメットを、もっと紹介してほしい。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・ 特に若い方は、自転車を運転することの危険性を深く考えておらず、繰り返しの教育が必要である。
委員	・ 海外には、ヘルメット着用が完全義務化されているということを市民の方にもっと伝えることができたらいと思う。
委員	・ 通学時間帯における学生に向けた指導や、高齢者に対する交通安全教育がとても大切だと思う。
8 答申	
(1) 交差点に関連する違反の取締強化及び効果的な指導警告の実施	
(2) 学生及び高齢者に特化した自転車利用に関する安全教育の推進	
(3) 自転車用ヘルメットの着用率向上に向けた取組の強化	
9 その他	
次回の開催予定は、令和6年5月頃とする。	
記録者	警務係長